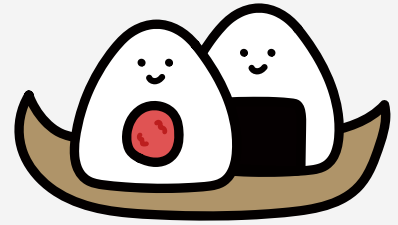


国語科と生活科を関連させた 教科等横断的な学習の実践



国語科・じょうほうのとびら『じゅんじょ』と生活科を関連させ、教科横断的な学習を行いました。

国語科では、「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」などの順序を表す言葉について学習しました。順序を表す言葉を用いることで、物事の進め方を分かりやすく伝えることができることを理解しました。

そこで、生活科の『広がれわたし』につながるおにぎり作りで、国語科で学習した内容を生かしながら、作り方の順序を確認し、一つ一つの工程を確かめながら活動を進めました。

【学習の流れ】

①国語科で「じゅんじょを表す言葉」について学習する。

②生活科で、おにぎり作りの順序を確認しました。

「はじめに、ご飯を用意する。」 「つぎに、ご飯にふりかけをかけてまぜる。」 「それから、ラップを用意する。」 「さいごに、形を作りながらにぎる。」

など、順序を表す言葉を使いながら活動の見通しをもちました。

③友だちと協力しながらおにぎりを作る。

④完成したおにぎりをみんなで食べ、活動を振り返る。



【児童の様子】

児童は、国語科で学習した順序を表す言葉を意識しながら、「つぎに何をするのかな。」「それから、ラップをひいて。」など、実際の活動の中で自然に言葉を用いていました。

また、順序を確認しながら活動を進めることで、安心しておにぎり作りに取り組むことができました。友だちと協力して作ったおにぎりを笑顔で食べる姿が見られ、達成感や満足感を味わうことができました。この後、国語科『こんなことをしているよ』で、組み立てを考えて書く活動につながっていきます。



国語科で学習した内容を生活科の活動場面で活用することで、学びが教科内にとどまらず、実生活と結び付いていることを実感することができました。また、体験活動を通して、順序を表す言葉の必要性や有用性を理解することができました。

今後も、各教科で身に付けた資質・能力を他教科や実生活の場面で活用できるよう、教科横断的な学習を積極的に取り入れていきます。

